

リスク	統制目標	(参考になるCOBITの項目)	統制の状況	整備・運用	予防・発見	手作業・自動化	整備状況			頻度	統制評価手続	評価ならびに検出事項(検出事項がある場合、その影響)	調書番号	リスク評価結果
							文書	プロセス	システム実装					
委1 外部委託に関する規定が欠如または不明確であるために、必要とされるレベルでのサービスが提供されず、情報の信頼性が確保されないリスク。	正式に文書化された外部委託管理規定が作成され、承認されていること。	DS2	1 例)正式に文書化された「外部委託管理規程」があり、IT委員会で承認されている。IT統括責任者が、適時に見直している。	整備	予防	手作業	○			年	1 例)「外部委託管理規程」と過去の改定履歴を閲覧し、IT委員会で承認されていること、IT統括責任者が、適時に見直していること、改訂履歴が記録されていることを確認する。			
	外部委託規程には、選定・契約・管理・モニター(監査)に関する規程が含まれていること。	DS2	1 例)「外部委託管理規程」に、選定・契約・管理・モニター(監査)に関する規程が含まれている。	整備	予防	手作業	○			年	1 例)「外部委託管理規程」に、選定・契約・管理・モニター(監査)に関する規程が含まれていることを確認する。			
委2 適切な外部委託先が選定されず、必要とされるレベルでのサービスが提供されないことにより、情報の信頼性が確保されないリスク。	外部委託管理規定に準拠して委託先が選定されていること。	PO6.3 DS2	1 例)「外部委託管理規程」に準拠して、委託先を選定している。	運用	予防	手作業	○			随時	1 例)過去の委託先選定の記録を閲覧し、規程に準拠していることを確認する。			
			2 例)選定前には、IT統括責任者が、サービスの提供能力、委託先の存続性、信頼性について判断している。	運用	予防	手作業	○			随時	2 例)過去の委託先選定の記録を閲覧し、選定前に、IT統括責任者が、サービスの提供能力、委託先の存続性、信頼性について適切に判断していることを確認する。			
委3 外部委託先と適切な契約が締結されず、必要とされるレベルでのサービスが提供されないことにより、情報の信頼性が確保されないリスク。	外部委託管理規定に準拠して委託と契約が締結されていること。	PO6.3 DS2	1 例)「外部委託管理規程」に準拠して、委託先と契約を締結している。	運用	予防	手作業	○			随時	1 例)「外部委託管理規程」を確認し、委託先との契約書等の書面を閲覧し、全ての委託先と契約書が交わされていること、規程に準拠していることを確認する。			